

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



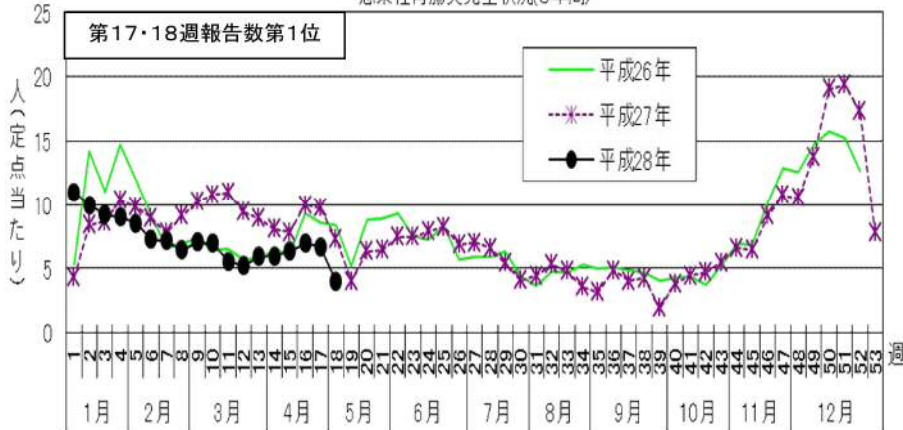
KAWASAKI CITY



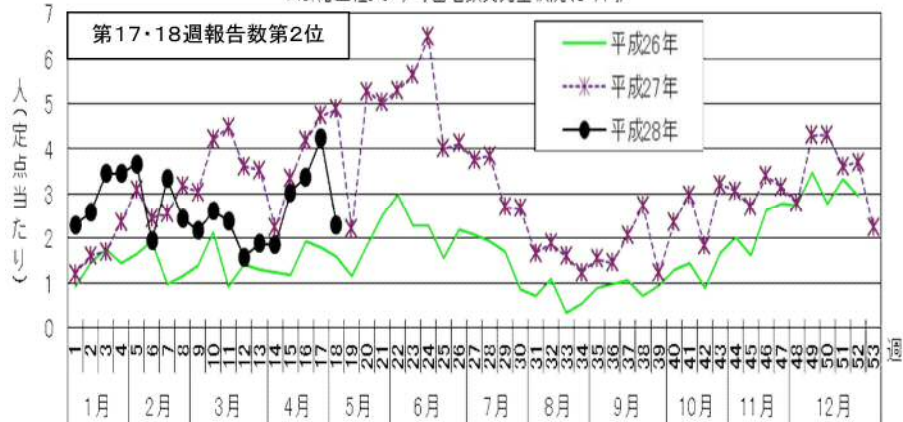
平成28年4月25日(月)～5月1日(日)〔第17週〕及び5月2日(月)～5月8日(日)〔第18週〕の感染症発生状況

第17・18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。  
 第17週は、感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数が6.68人と前週(6.97人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 第18週はゴールデンウィークで、多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## ～海外旅行後の体調の変化に注意しましょう！～

海外旅行後の体調不良には、思わぬ感染症が潜んでいる可能性があります。特に発展途上国を旅行した場合、少なくとも6か月間(主に帰国後2週間)は、体調の変化に注意して下さい。

帰国後、下痢等の胃腸症状や発疹・発熱等の症状が見られた場合には速やかに医療機関を受診しましょう。医療機関の受診にあたっては、症状に加えて旅行先・旅行期間・旅行目的・旅行中の行動・宿泊先の状況(虫除け対策の有無)・旅行前の予防接種歴等の情報を整理して必ず医師に伝えましょう。

医療機関にかかる前の情報整理に、厚生労働省検疫所(FORTH)のチェックシートも参考にあります。



URL:<http://www.forth.go.jp/useful/attention/pdf/29.pdf>



### 海外で見られる感染症の主な流行地域

- ・デング熱：アフリカ地域、アメリカ地域、東地中海地域、東南アジア地域、西太平洋地域の熱帯・亜熱帯地域
- ・マラリア：アジア、オセアニア、アフリカおよび中南米の熱帯・亜熱帯地域
- ・ジカウイルス感染症：中南米地域
- ・コレラ：アフリカ、アジア、中南米の一部の地域
- ・狂犬病：アフリカ、アジア、中南米のほとんどの地域
- ・MERS(中東呼吸器症候群)：アラブ首長国連邦、イエメン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、ヨルダン

